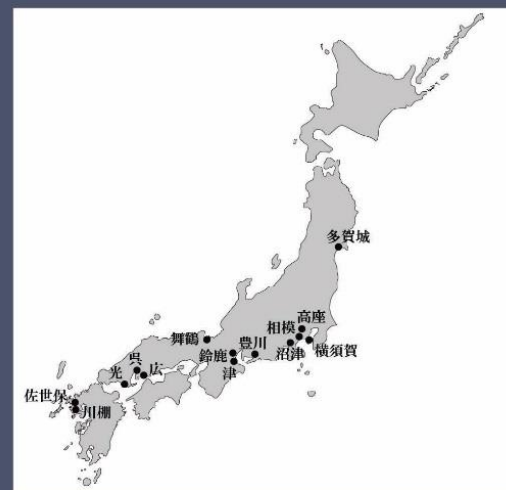


# 海軍工廠

工廠という言葉は現在ではあまり聞き慣れない言葉だと思いますが、軍隊に直属する軍需工場のことを意味します。海軍工廠は日本海軍の艦艇・各種兵器の製造・修理などを行う工場のことであり、明治36（1903）年の海軍工廠条例の制定により、横須賀・呉・佐世保・舞鶴の鎮守府に設置されたのが始まりです。当時、各鎮守府には兵器廠・造船廠などがありましたが、日露戦争勃発直前の軍備拡張が必要とされた時期に、それらを統合し海軍工廠が設立されました。豊川海軍工廠は、日中戦争から太平洋戦争へと戦局が進展する中、全国で6番目の海軍工廠として昭和14（1939）年に開庁しました。その後も太平洋戦争の開戦により軍備増産の必要に迫られた海軍はさらに海軍工廠の設置を進め、終戦時には全国で計14箇所に海軍工廠が存在しました。



海軍工廠所在地

## 全国の海軍工廠

工廠名	所在地	開庁日	主要造修部
横須賀海軍工廠	神奈川県横須賀市	明治36(1903)年11月10日	造兵・造船・造機・潜水艦・光学実験・機雷実験・航海実験 電池実験・機関実験
呉海軍工廠	広島県呉市	明治36(1903)年11月10日	砲類・火工・水雷・電気・造船・造機・製鋼・潜水艦・砲類実験 魚雷実験・電気実験・造船実験・製鋼実験
佐世保海軍工廠	長崎県佐世保市	明治36(1903)年11月10日	造兵・造船・造機・潜水艦
舞鶴海軍工廠	京都府舞鶴市	明治36(1903)年11月10日	造兵・造船・造機・機関実験・第二造兵・潜水艦
広海軍工廠	広島県呉市	大正12(1923)年4月1日	航空機・造機・素材・機械実験・工作機実験・鋳物実験
豊川海軍工廠	愛知県豊川市	昭和14(1939)年12月15日	機銃・火工・光学・指揮兵器
光海軍工廠	山口県光市	昭和15(1940)年10月1日	砲類・製鋼・水雷・爆弾・造機
相模海軍工廠	神奈川県高座郡寒川町	昭和18(1943)年5月1日	第一火工・第二火工・化学実験
川棚海軍工廠	長崎県東彼杵郡川棚町	昭和18(1943)年5月1日	第一水雷・第二水雷
沼津海軍工廠	静岡県沼津市	昭和18(1943)年6月1日	航空無線・無線
鈴鹿海軍工廠	三重県鈴鹿市	昭和18(1943)年6月1日	機銃・火工
多賀城海軍工廠	宮城県多賀城市	昭和18(1943)年10月1日	機銃・火工
高座海軍工廠	神奈川県座間市・海老名市	昭和19(1944)年4月1日	飛行機
津海軍工廠	三重県津市	昭和19(1944)年4月1日	発動機・推進機



『海軍工廠受驗講座』(昭和13年)より